

## 第6章 実現に向けて

### 1 計画の実現に向けた取組方針

復興まちづくり計画の実現に向けては、復興の当事者である住民や行政、まちづくり支援者といった、復興に関わる様々な主体をつなぐ役割を発揮することが重要です。

そのためには、以下の点に留意した計画の推進が必要です。

- ①復興まちづくり計画に記載した取組を実行に移す「実現性」
- ②内容の進捗や確認を可能とする「検証性」
- ③必要に応じて随時見直しを図りながら実態に即した進め方を行う「柔軟性」

#### ① 復興まちづくり計画に記載した取組を実行に移す「実現性」

被災者の再建意欲や民間事業者の投資意欲、居住、生活、産業の場としての関心など、まちの吸引力を維持するため、計画に示す内容にできるだけ速やかに具体性を持たせ、関係者と共有することが必要です。市民の生活再建や事業再生の意向把握やまちづくりとの合意形成を進めながら、事業期間や費用を踏まえた現実的かつ実効性の高い手法を選択し、実行に移します。

また、復興まちづくりの具体的な道筋を関係主体と共有するため、早期に安全性を高めるための取組や復興をけん引する取組など、緊急性と必要性を踏まえた優先的な取組を検討します。

併せて、各取組目的に応じた施設、地域資源等の活用方法や管理・運営方法、仕組み等の展開方法等についても関係主体とともに検討を進め、取組の実現過程に反映します。

#### ②内容の進捗や確認を可能とする「検証性」

復興まちづくり計画の推進に当たっては、計画の進捗状況、市民意識の変化、推進上の課題等を適切に把握・評価し、施策や事業内容の見直し等に反映していくことが求められます。

市民、事業者、地域団体、国・県等と連携し、情報の共有化を図りながら、有識者等も交え進捗評価を行います。

#### ③必要に応じて随時見直しを図りながら実態に即した進め方を行う「柔軟性」

計画内容の具体化や実施を進める中で、進捗評価の内容をもとに、計画の弾力的な見直しを行います。

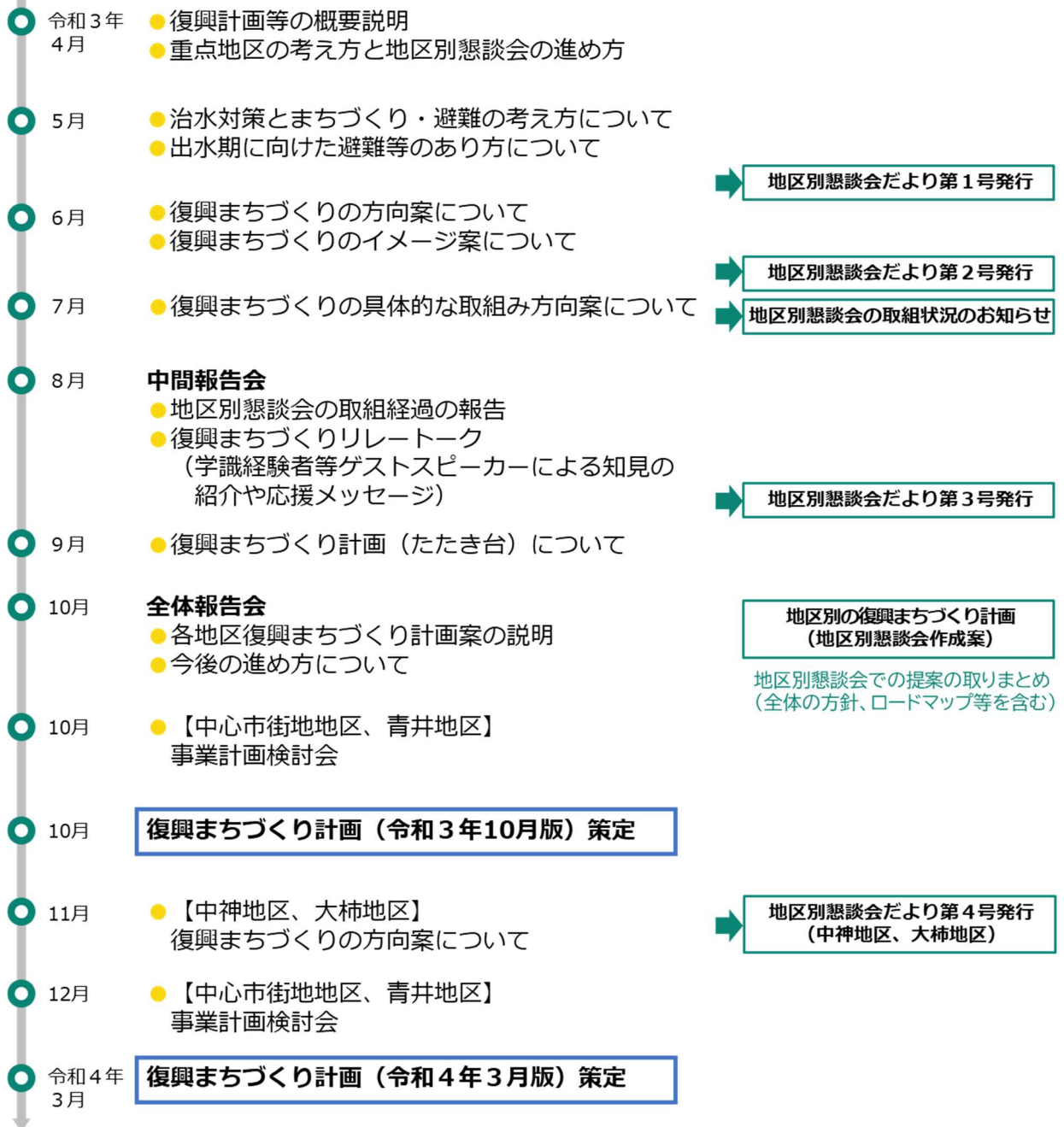
住民等の意向や社会情勢の変化、事業推進上の課題の反映の他、計画を推進する手法の導入や体制の強化等、仕組みの面でも適宜見直しを図ります。



# 参考資料

## 1 復興まちづくり計画検討の経緯

### ■地区別懇談会等の取組経過







## ■中間報告会

令和3年8月22日（日）14時より、人吉市役所仮本庁舎（カルチャーパレス）1階会議室において、地区別懇談会の中間報告会を行いました。

※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンライン開催のみに変更。



## ■全体報告会

令和3年10月16日（土）14時より、スポーツパレス小アリーナにおいて、地区別懇談会の全体報告会を行いました。（参加人数：76人）



## 2 復興まちづくり計画の検討に合わせた多様な主体との取組

### ■九日町紺屋町再生会議（※第2回目から参画）

実施日：第1回 令和3年3月17日（水）  
第2回 令和3年4月21日（水）  
第3回 令和3年5月19日（水）  
第4回 令和3年6月22日（火）  
第5回 令和3年7月21日（水）  
第6回 令和3年9月10日（金）  
第7回 令和3年10月5日（火）  
第8回 令和3年12月7日（火）  
第9回 令和4年2月15日（火）

### ■老神若手会との意見交換会

実施日：令和3年8月5日（木）、令和3年8月30日（月）【オンライン】、  
令和3年9月28日（火）

### ■温泉町内会とのまち歩き

実施日：令和3年9月15日（水）

### ■人吉高校とのワークショップ

実施日：令和3年7月28日（水）

## 3 令和3年8月意向調査結果の概要

### ■対象者

令和2年7月豪雨災害においてり災判定を受けられた世帯及び今後の復興事業等に関連する地権者の方。

### ■発送・回答状況（令和3年10月末時点）

発送数	3,739世帯
回答数	2,058世帯
回答率	55.0%

## 4 計画の改定履歴

### ■令和3年10月策定

### ■令和4年3月改定

	改定内容概要
該当箇所	改定内容概要
第2章	・令和3年12月の球磨川水系河川整備基本方針の変更について追記
第3章	・避難路・避難場所について、最新の状況を踏まえて更新
第4章	・中神地区、瓜生田地区、大柿地区、小柿地区について内容を更新
第5章	・中心市街地地区、青井地区について、被災市街地復興推進地域における復興まちづくりの方針を追記